

卒業プロジェクト公開プレゼンテーション 開会挨拶（有信睦弘学長）

本日は叡啓大学卒業プロジェクトの公開プレゼンテーションに御参加いただき、誠にありがとうございます。叡啓大学は2021年4月に開学し、3月に初めての卒業生を送り出します。本日発表する学生たちは叡啓大学の第一期生として、この4年間、新しい大学の歴史を作ってきました。彼ら、彼女らの叡啓大学での学びの集大成をご覧いただくこととなります。

叡啓大学は従来の知識偏重型ではない新しい教育モデルの確立を目指してきました。先行きが益々不透明になる社会の中で、自らが活躍する社会システムの全体像を把握し、自らの夢を描き、それを実現することによって社会を前向きに変えるチェンジメーカを育てることを目標にしています。そのために必要な素養をコンピテンシーと名付けコンピテンシーの涵養を目指してきました。卒業プロジェクトは学生達が身につけたコンピテンシーが評価される場でもあります。

私達がコンピテンシーと考えているのはグローバルコラボレーション力、先見性、戦略性、実行力、自己研鑽力の5つの素養です。学生たちは社会を俯瞰的にとらえるための知識と、夢を描きそれを実現するために不可欠なスキルを身につけ、それらがどのように役に立つかを体験実践プログラムや課題解決演習で体験し、更に学びを深めてきた筈です。課題解決演習では実際の社会的課題に取り組むことにより新しい価値を生み出すとともに、学びを深めるというダブルスパイラルを経験しています。

学生達が卒業プロジェクトを進めるに当たっては、プライマリーアドバイザーを中心に教員の努力も大きかったと思います。また、学生にとってはこのプロジェクトは4年間の叡啓大学での学びの集大成となります。学生も教職員も、従来の大学教育とは異なる新しい学びを作り上げ、新しい歴史を刻んできました。新たな学びやコンピテンシーの涵養は十分に完成したとは言えないかもしれませんが、本日は学生達の到達点をご覧いただき、様々な助言をいただければ幸いです。本日は参加いただき有難うございます。